

マーケットの動き（2025年9月15日～9月19日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。17日にFOMC（米国連邦公開市場委員会）でFRB（米国連邦準備制度理事会）が利下げを決定した際には一時的に債券が買われる場面もありましたが、持ち高調整の売りが優勢となりました。その後も、週後半に発表された米経済指標が予想以上に強い内容だったことを受け、米国長期金利は上昇しました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2025年9月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに徐々に水準を切り下げる

米国：雇用市場の減速が鮮明となり、物価関連の経済指標が落ち着きをみせる中、FRB（米国連邦準備制度理事会）は秋以降に利下げを再開するとみています。その後のFRBによる利下げペースが注目される中、景気が減速するとの見方を背景に、長期金利は徐々に水準を切り下げるとみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）は7月に利下げを見送った後は様子見姿勢を維持していますが、域内景気の減速や通貨高を背景にインフレが抑制される中、ドイツ長期金利は徐々に水準を切り下げるとみています。

	9月19日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.13	0.06	▲0.18	▲0.12	0.41
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	623.82	0.03%	1.25%	3.88%	6.68%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

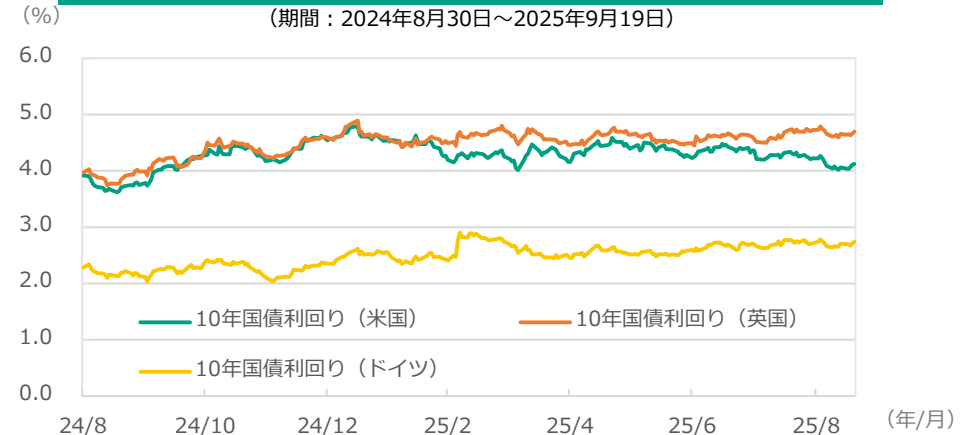
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202509_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2024年8月30日～2025年9月19日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2024年8月30日～2025年9月19日）



※2024年8月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成